

TO BE!

東北文教大学で
見つける、叶える。
なりたい自分へ進行中。



知りたい!!



学生自治会のコト

おしえて!!

「学生自治会」は、学生一人ひとりが充実したキャンパスライフを送るために活動する、学生による学生のための組織。主にイベントの主催や部活・サークルの支援などを行っています。自治会と聞くと少し堅苦しく感じてしまうかもしれませんが、実際は楽しくて和気あいあいとした雰囲気。2023年度から新メンバーとしてスタートを切る学生自治会の活動を掘り下げてみました!

WORKS.1 イベントの開催

スポーツ祭や大学祭、クリスマス会…
学生が盛り上がる場を!

クラス対抗の熱い戦いが繰り広げられる「スポーツ祭」の運営や、大学の一大イベントである「大学祭」を大学祭実行委員会と協力して開催しています。クリスマス会では、対面ライブの運営や学内のイルミネーションの設置、ツリーの飾りつけも。「やりたい!」と思ったら、企画もアイデアも運営も学生の力でできることが最大の魅力です。



スポーツ祭



大学祭



コストコビザ駅伝



クリスマスツリーの飾りつけ

他にはこんなことも!

新入生歓迎週間
(ディスプレイで部活動紹介動画を配信)

花笠まつり(参加者募集)

なりました!
新メンバーに
私たちが



WORKS.2 連絡協議会への参加

みんなの声を届ける
学生と大学のパイプ役

学生と大学側の意見交換の場がここ。学生から集まった「意見・要望アンケート」の内容をもとに、活発な意見や質問が飛び交います。司会進行を行う議長や発言内容を記録する書記も自治会の役割。自分たちの声で大学生活をもっと充実させたい、先生方と率直に話したい、面白い企画を実現させたい、そんな学生が生き生きと活躍できる場が自治会です。



WORKS.3 ポスターやSNSでの広報

学内イベントの告知や
大学の“いま”を外へ発信

自治会の広報が中心となり行っているのが、多くの学生の目に触れるイベントやお知らせのポスター作成やSNS(Instagramなど)での発信、大学ウェブサイトの記事作成。特にSNSやウェブサイトは大学の“いま”を、高校生やその保護者を含めた広く一般の方々に知ってもらい、興味を持ってもらうきっかけとして大切なツールです。



MESSAGE 新メンバーからひとこと



安彦 里菜さん
人間科学部 人間関係学科1年
(山形県立谷地高等学校 出身)
運営側も学生もとにかく楽しいと思えることが一番! 会長としてスポーツ祭、大学祭の規模を大きくして、コロナ禍でも楽しいと思える学校を作っていきます。



高橋 真凜さん
人間科学部 人間関係学科1年
(山形県立山形北高等学校 出身)
先輩から人手不足と聞き、役に立ちたいと自治会へ。学生ができるかぎり不便なく大学生活を送れるよう、自治会が積極的な関わりをしていきたいです。



渋谷 実樹さん
人間科学部 子ども教育学科1年
(山形県立谷地高等学校 出身)
学生同士でアイデアを出し合っているときがとても楽しいです。SNSをもっと有効に活用して、大学のことをたくさんの人に知ってもらいたいですね。



須貝 ひなたさん
人間科学部 人間関係学科1年
(山形県立新庄南高等学校 出身)
高校生のときに自治会のInstagramを見て興味を持ちました。先輩のアドバイスをもとに自分の気持ちを進んで実行して、様々なことに挑戦していきます!



猪倉 響さん
人間科学部 子ども教育学科1年
(山形県立谷地高等学校 出身)
友達に誘われて活動に参加。はじめは渋々入りましたが今では「入って良かった」と思うことが多いです。コストコビザ駅伝に勝る企画を考えたいです。



佐藤 心葉さん
人間科学部 子ども教育学科1年
(山形県立山形北高等学校 出身)
知人の紹介で自治会に。高校時代の生徒会での経験も生かせると思いました。総会や連絡協議会などのスムーズな議事進行を行ってみたいです。



柿崎 正宗さん
人間科学部 人間関係学科1年
(秋田県立横手高等学校 出身)
みんなで知恵を出し合って工夫しながら仕事を進められるところが面白いですね。学生のことを第一に考え、コミュニケーションを大切に活動したいです。

my BEST CHALLENGE

私たち こんなことに挑戦しました!

CHALLENGE 1 大学祭



食事を楽しめるキッチンカー、お札風の割引券もみんなのアイデア

コロナ禍での初の大学祭 工夫をこらしたアイデア で大成功

大学祭で実行委員を経験。コロナ禍での大学祭は初めてで一からの挑戦でしたが、カレーやスイーツを楽しめるキッチンカーを呼んだり、先生たちの顔入りのユニークな割引券を作ったり、盛り上がる企画で大成功。将来は福祉関係の仕事に携わりたいので、社会福祉士の試験合格が一番の目標。友人たちとの時間を大切にしながら大学生活を楽しんでいきたいです。

人間科学部 人間関係学科/2年
大内あすかさん
東北文科大学山形城北高等学校 出身

CHALLENGE 2 教員採用試験



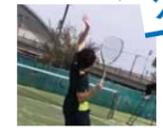
軽音楽部として、大学祭やクリスマス会で演奏できたのも大きな挑戦。

友達と助け合いながら無事、 教員採用試験に合格!

中学時代の先生に憧れ職業として目指すようになり、教員採用試験にチャレンジ。試験へ向けてメンタルを保つのは大変でしたが、友達と悩みや思いを共有しながら、無事合格することができました。今は卒業論文のための研究や執筆作業に追われる日々。4月からは小学校教員になるので、一人の人間として自立し、高い倫理観と責任感を身につけたいです。

人間科学部 子ども教育学科/4年
飛田陽斗さん
新潟県立柏崎高等学校 出身

CHALLENGE 5 ソフトテニス



ソフトテニスは中学生の頃から。達成感でいっぱい。県大会準優勝。

クラブとして初の準優勝 努力が報われました

ソフトテニスのクラブチームに所属し、県1位を目指して頑張りました。改善点などを意識しながら練習を重ね、優勝にはあと一步届きませんでした。クラブとして初めて県大会で準優勝することができました。福祉の仕事のやりがいは、利用者の方からの「ありがとう」の言葉。就職した時に即戦力になれるように、2年間で得た学びを活かしていきたいです。

短期大学部 現代福祉学科/2年
渡辺爽太さん
東海大学山形高等学校 出身



勉強やサークル、イベントなど、新しいことにどんどん「挑戦」できるキャンパスライフ。皆さんはどんなことに一生懸命なんでしょうか? 8人の学生たちに教えてもらいました。

CHALLENGE 6 絵本の読み聞かせ



読み聞かせの経験を積み、コツをつかんできました。

子どもたちに絵本を楽しんでもらうことが何より

「児童文化部」で、授業で学んだ読み聞かせの仕方や手遊びを子どもに実践しています。子どもの好みに合わせて絵本を選び直し、「僕の好きな本!」と喜んでもらったときはとてもうれしかったですね。保護者の方と子どもの成長を一緒に楽しめるのもやりがいの一つです。多くの人と意見交流し、「自分がやりたい」と思える保育を見つけていきたいです。

短期大学部 子ども学科/1年
丸川夏海さん
山形県立米沢東高等学校 出身



CHALLENGE 3 レポート作成



わからないところは先生がしっかり教えてくれるので安心です。

ハードな課題にも前向き に取り組んでいます

最近、頑張っていることは「心理学基礎実験」の授業のレポート作成。2週間に1回のレポート提出はなかなかハードですが、実験はとても楽しいです。自分なりのコツは、実験があったその日に忘れないうちにレポートを書くことです。学業以外には、スノーボードに行ったり、食事に行ったり、友達との時間を楽しく過ごすためにアルバイトにも励んでいます。

人間科学部 人間関係学科/2年
軽部佑靖さん
日本大学山形高等学校 出身



CHALLENGE 4 絵本の読み聞かせ



日本の絵本や手遊び歌に関心を持ち、レポーターを増やしています。

子どもたちの視野を 広げる力になれば

子どもとの関わりを増やしたいと思い、「児童文化部」で絵本の読み聞かせに参加しています。私は韓国出身なので上手くできるか不安でしたが、先輩方と一緒に何回も読み聞かせをすることでたくさん絵本や手遊び歌を知ることができ、自分の引き出しが増えました。将来は子どもと関わり、韓国の文化などの多文化理解につながる仕事ができたらと思っています。

短期大学部 子ども学科/1年
朴美顕さん
鎮海世和女子高等学校 出身



CHALLENGE 7 教員採用試験



実習は大変ですが、子どもたちからたくさん学びを得られます。

夢は小学校の先生 試験勉強に奮闘する日々

3年生から教員採用試験の勉強に取り組んでいます。昔から歴史が大の苦手でしたが、今は歴史の漫画を読みながら、歴史の学習内容の記憶を呼び起こしています。小学校の実習で「先生、授業楽しかった!」と言われたときは先生っていいなと改めて実感。さまざまな学力や知識、社会人としてのマナーを身につけ、子どもと信頼関係を築ける先生になればと思います。

人間科学部 子ども教育学科/3年
高橋怜菜さん
山形県立酒田西高等学校 出身



CHALLENGE 8 オープンキャンパス



キャンパスツアーでは高校生へ福祉の魅力を伝えました。

同じ夢に向かう高校生と出会ったオープンキャンパス

学生スタッフとしてオープンキャンパスに参加。大学についてどう伝えるか、考えるのが難しい場面もありましたが、福祉に興味がある高校生と関わることでできてうれしかったです。今は介護福祉士の国家試験に向けて学校でも家でも猛勉強中。4月からは福祉施設で働くため、自分の目指す姿をしっかりとイメージして仕事ができるよう将来像を明確にしていきたいです。

短期大学部 現代福祉学科/2年
佐藤初音さん
山形県立新庄北高等学校 出身



※内容は取材時(1月)のもので



子ども学科
准教授
石井美和
ISHII MIWA

子どもの発想を楽しんで
一緒に新しいものを
作り出していこう

教員プロフィール／東北文科大学短期大学部 子ども学科 准教授。東北大学教育学部卒業、東北大学大学院教育学研究科博士課程単位取得後退学。2007年から専門学校や大学で講師を務め、2016年から東北文科大学短期大学部 子ども学科 講師に就任。専門分野は教育学、教育社会学。「教育原理」「保育カリキュラム論」「教育制度」の授業を担当。

子どもをそばで見守り
保護者をそっと支える

橋本／先生のご専門の一つである「教育社会学」について教えてください。

石井／社会と教育の関係を考えていく学問です。例えば、国によって教育方法は違って、日本では小学校のクラスの人数が40人くらいなのに、北欧では15人くらい。日本では教室で生徒が先生の方を向いて座るのに対し、海外ではコの字型に座る、といったように社会や時代が変わるとどのように教育方法が変わるかを研究していくものです。“保育者”に求められる役割も10年前と今とは大きく変わってきています。

仁藤／現在の保育者には、どのような役割が求められているのでしょうか。

石井／一つは、10年前は子どもの保育をしていれば良かったのですが、今は“保護者を支援すること”も大事な役割になってきています。私が研究でお世話になった保育者の先生によると、その先生が若い頃は子育て支援など求め

られていなかったと言います。社会の変化の中で、核家族や転勤などで近くに頼れる人がいない保護者が増え、不安を抱える母親の姿を多く目にするように。子育て支援の必要性を感じ、保護者同士が悩みを気軽に相談し合える子育て広場を作ったと話してくださいました。もう一つは、以前の保育者像は正しいことを教え導くことでしたが、今は子ども自身がやりたいことを見つけ伸ばしていく、“寄り添い、支える”ことの方が大切とされています。走り回っていたら友達とぶつかってけがをさせてしまう、自分がこうすると先生が悲しむ。いろんな経験を通して子どもはどう行動すべきかをちゃんと学習する力を持っています。その“気づき”に子どもと一緒にたどり着くことが理想ですね。

想像から現実の遊びへ
保育者もワクワクする毎日

橋本／保育者という仕事の面白さ、やりがいはいくらくらいありますか。

石井／子どもの発想はすごく豊か。それを聞いているだけでとてもワクワクしますよね。絵本一つから遊びが広がって、絵本と同じように遠足に行こうとか、登場人物からお手紙が届いたからお返しのお手紙を書こうとか、想像の世界から新しいものを子どもと作り上げていくことが保育者としての醍醐味。子どもから遊びのアイデアを上手に引き出して、クラス全体を巻き込むような遊びへと広がっていく。その保育者の発想力や、現実の遊びに発展させていく総合力はすごいと感じます。学生には子どもと同じ目線で一緒にいろんなものを作ってあげる保育者になってほしいですし、その方が絶対に保育が楽しくなると思います。



NOTICE BOARD

REPORT 「JK-BC 1対1マッチング型日韓学生交流プログラム報告会兼公開講座」を開催



本プログラムは、サイバー韓国語大学日本語学部と本学の学生がオンラインで自由に1対1の交流を図るもので、2021年から延べ192人ほどが参加しています。

2022年11月12日にリモートで実施した報告会には、両大学の学生と教員計43名が参加しました。両大学の代表者4名が参加のきっかけ、交流内容、感想などを発表し、さらに人間関係学科開講科目「韓国語エクスペリエンス実践」の受講生3名が山形の魅力を披露しました。サイバー韓国語大学の参加者からは山形に行ってみようなどの感想が寄せられました。また、2022年9月から本学で学ぶサイバー韓国語大学の交換留学生2名が山形での近況を報告しました。

REPORT 人間関係学科「地域言語コミュニケーション演習」で方言調査を実施



2022年11月19日、人間関係学科授業「地域言語コミュニケーション演習」の方言調査を行いました。本科目は、日本語学の中でも方言の調査のしかたについて学び実践するもので、人間関係学科の2年生と交換留学生が受講しています。受講者は事前に言語地図などを参考に質問を考え、調査票を準備して調査に臨みました。

当日は、会場の南山形コミュニティセンターに地域協力者8名、受講学生9名が集まり、3班に分かれてお話をうかがいました。調査ではもの名前の方言的な言い方や意味、昔のことばや生活のこと、普段親しい人同士で会話のやりとりなどについてお教えいただきました。

AWARD 杉中拓央講師が「日本生活支援工学会優秀論文賞」を受賞



子ども教育学科の杉中拓央講師が「日本生活支援工学会優秀論文賞」を受賞しました。

受賞対象論文：「高等教育において聴覚障害学生が抱える具体的困難の抽出」日本生活支援工学会誌 11 (1), 26-33. 杉中講師からのコメント「これまでの研究成果を学生支援等の実践に活かし、その実践をととして、また新たなアイデアや課題を得ることができればと考えています」

NEWS 個人・団体での大学見学を
随時受付中



本学では、オープンキャンパス以外の日でも、個人・団体（学年やクラス単位でも可）での大学見学を随時受け付けています。見学の内容は学科説明・模擬授業・キャンパスツアーなど、ご希望に応じて実施いたします。9月～11月で、2つの中学校、2つの高等学校のみなさんが見学に来てくれました。また、「東北文科大学の雰囲気自分の目で確かめたい」という受験生や保護者の皆さんも、ぜひ大学見学へお越しください。詳しくは入試広報センターまで、お気軽にご相談ください。

【入試広報センター】
TEL：023-688-2296 / E-mail：GO@t-bunkyo.ac.jp

思いやニーズを尊重し
より良い生活へと導く
ケアマネジャーに



土屋 暁子さん

TSUCHIYA AKIKO

社会福祉法人 みゆき福祉会
居宅介護支援事業所ながすず



両親が共働きで、幼少期に長い時間を一緒に過ごし、育ててくれたのが祖父母でした。祖父母と話すのが大好きでしたし、高齢化が進む社会のことも考え介護職を目指すように。実家から通えて介護福祉士の資格が取得できることから山形短期大学(現 東北文教大学短期大学部)に進学。授業に実習に遊びに本当に忙しい2年間。そんな大変な時を共に過ごした友人とは今でも交流が続いています。

卒業後は特別養護老人ホームに就職。介護福祉士として勤務し、10年目から施設ケアマネジャーを経験。現在は居宅介護支援事業所ながすずで居宅ケアマネジャーとして働いています。身体に直接触れて介護を行う介護福祉士に対し、ケアマネジャーは利用者様のニーズを聞き、その方に合ったサービスを調整、プランニングしていく仕事。この仕事を始めるきっかけは第一子の妊娠でした。早番や遅番の勤務が難しいと悩んでいた時期に、「通常勤務で働ける施設ケアマネジャーをやってみたら」と上司に声をかけてもらったことが契機に。給与面でもステップアップできますし、日程調整も自分でできるので子育てをしながら続けられる仕事だと感じます。

利用者様はご自宅の環境も、経済的にも、求めていることもそれぞれ違います。そんなとき強みとなるのが、短大で身につけた介護福祉士の技術や現場での経験。利用者様の生活を具体的にイメージし、より良いサービスにつなげていく上で活かされています。いま、何よりも大切にしているのは、「ご本人の思いやニーズを尊重すること」。「自宅にいる利用者様はしっかりと自分の思いを持っている方がほとんど。体が動けなくなっても家にいたい」「こんなことをやりたい」。そうした思いを丁寧に受け止め、応えていきたいですね。

私の HISTORY

1年次

介護福祉士を目指し山形短期大学に入学

27歳

ケアマネジャーの資格取得。短大時代の先輩の勉強会にも参加し、無事合格へ

29歳

短大の恩師の勧めでデマークの介護施設の研修へ。海外の介護現場を目にする貴重な経験に

30歳

特別養護老人ホームみずほの里で施設ケアマネジャーとして働き始める

ここがターニング Point!

結婚、第一子妊娠を機に働き方を見直しました



現在

居宅ケアマネジャーとして利用者の思いに耳を傾ける。求められるサービスとつなげていくために、法改正、地域の事業サービスなど新しい情報に日々アンテナをはっている

TOBE!

広報誌タイトル「To Be!」の由来

To Beには「やがて～になる」の意味と「TOBE(飛べ)」という思いを込めました。

東北文教大学は「なりたい自分」を見つけ、未来に向かって羽ばたいていく皆さんを応援していきます。